

住みよく・活気ある

田園都市を築こう

市政功労賞授賞者

10月1日
市制10周年

あすの市政を

目ざして前進を

盛大に祝賀式典と記念行事



わたしたちが住み、育ててきました、郷土南園市は、十月一日で発足満十年となりました。
市制十周年を記念する祝賀式典は満十年を迎えた一日の午前十一時から市民体育館に、県知事代理をはじめ、県選出国会議員ら多数の来賓を招き、関係者、一般市民など約四百人が列席して、盛大に開られました。

先ず、の赤字財政にあって、歴代市長を金堂市長はじめ職員たちの労苦と、全市民の「市の協力によってじょじょに克服され、どうにか市の基盤が確立して

きました。これからは新しい世代にむかって、全市民が一体となりすみよい近代的な田園都市の建設に努力してゆきます」と力強い式辞を述べ、そのあと各方面で活躍されて市民の模範となられる五氏（教育・行政 岩村元治さん、社会福祉 山本高一さん、産業 橋詰利亀さん、一般 佐藤政継さん、川添好照さん）に第二回市民賞を市政に功労のあった五氏（浜田春

宮崎清作さん 八十四歳 西山

長岡村役場に奉職、その後村長として他方自治行政の発展に尽くされた。

また、産菜組合長や木炭組合、森林組合などを設立その役職にあって活躍された。

浜田春水さん 八十歳 前浜

元前浜村長、食糧不足村として保有米の全量買入れ、全戸配給の制度を実施、耕作の共同化、水稲栽培の統一をはかる。早くから物部川水利開発を訴え物部川開発の一助となった。

史学の造けいも深く、著書もある。市の文化財審議委員として活躍。

沢村正路さん 六十九歳 十市

地方裁判所の書記官として長らく勤務、公選初の十市村長として二期八年間の自給行政に尽力さ

市政功労賞に輝く五氏

れた。のち、香長村助役として行財政の円滑な運用に意を尽くされた。

現在、家庭裁判所の調停委員の職にある。

宮本正勝さん 六十八歳 奈路

上倉村の書記から助役となり自治行政に貢献された。

また、村会議員、同議長、また後免町議会副議長などを歴任、村政、町政に尽力され、市政の施行の促進に活躍された。現在、農業委員として努力されている。

五百歳貞さん 六十七歳 下野田

はやくから公明選挙運動に従事、市の明るく正しい選挙推進委員会長の職にあり、常に選挙の浄化と市民の啓発につとめている。もと後免野田組合教育委員、県、市の社会教育委員、連合婦人会長などをつとめ、青少年の健全育成、婦人の資質向上のため尽くされた。